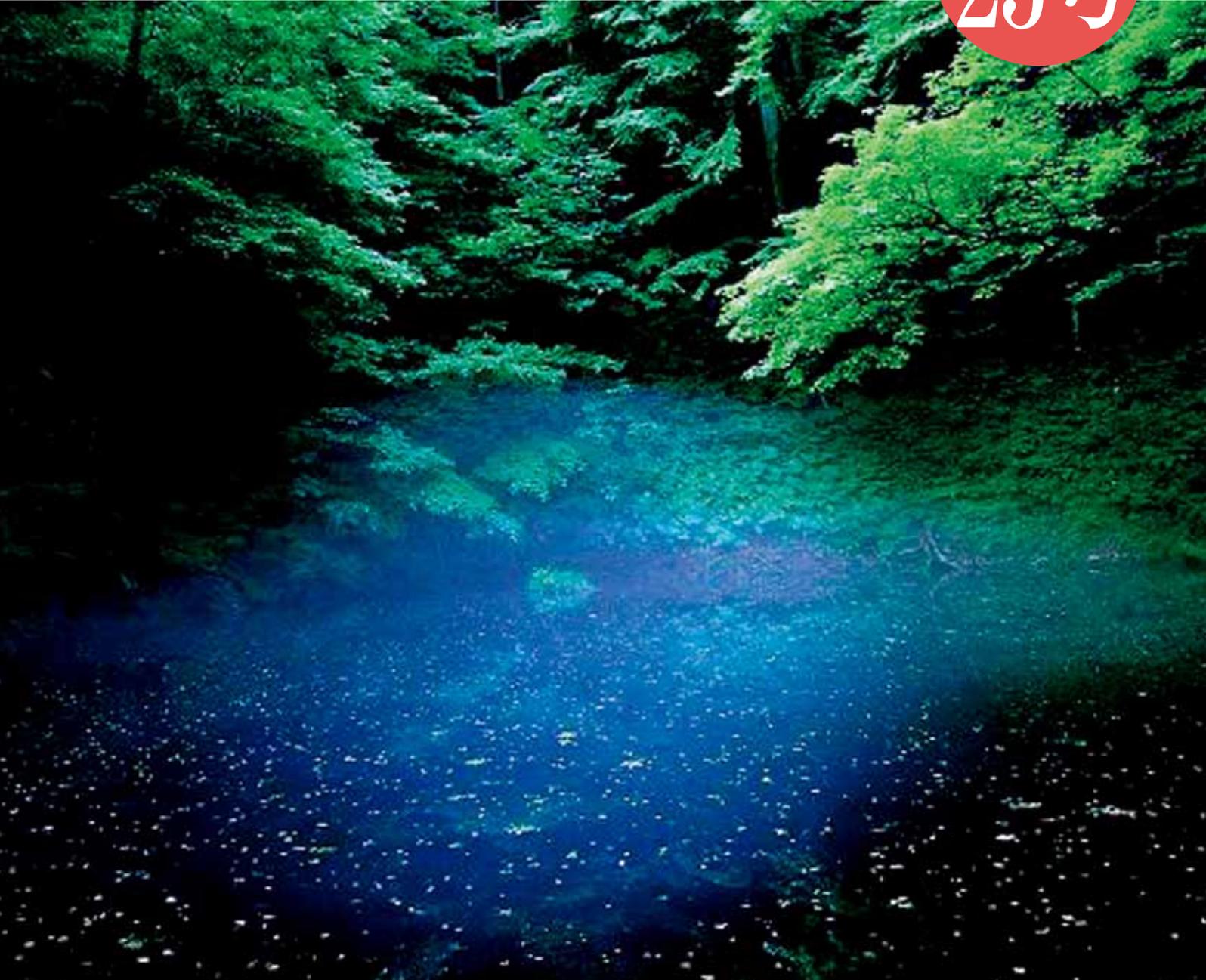


老健あおもり

RŌKEN AOMORI

2014
25号



公益社団法人 青森県老人保健施設協会

老健あおもり
2014.25

目次

巻頭言 ①

役員名簿 ②

支部だより ③

老人保健施設ほほえみ三戸 ⑥

特集 認知症ケア⑨ ⑧

料理自慢 ⑫

施設だより ⑭

青森県老人保健施設マップ ⑫②



表紙写真

青池（岩崎村十二湖）



平成27年の介護保険制度改正の具体的な議論がいよいよ目前に迫ってきている。今回の改正は団塊の世代が75歳以上に達する2025年に向けて持続可能な社会保障制度の確立を図るための第一歩に位置付けられるものと思われる。

今年の2月に厚生労働省より介護保険制度の改正案がだされ既にいろいろな意見がネット上でも出ておりますが、制度改正のポイントとして

- ① 要支援1・2の対象者のうち訪問介護と通所介護を介護保険（予防給付）からはずし、市区町村が取り組む地域支援事業に移行する。これについては、介護予防の利用者のうち全国平均で半分以上が利用している2つのサービスを、財政面やサービスの質の確保の面から各市区町村にスムーズに移行できるのかという懸念がある。
- ② 特別養護老人ホームの入所対象を原則要介護3以上とする。現状でも重度化してきているところであるが、現実的な対応として特例措置を認めるかどうかという問題があると思われる。
- ③ 一定以上の所得のある利用者の自己負担を現行の1割から2割へ引き上げる。これについては、健康保険では3割負担となっていることから方向性としてはやむを得ない面もありますが、所得の線引きや限度額の設定の妥当性については年金支給額の低下や消費税アップの影響等考慮する必要があると思われる。
- ④ 低所得の施設利用者の食費・居住費を補填する「補足給付」の要件に資産などを追加する。これに関しては資産調査を具体的にどのようなにするのかという問題があると思われる。
- ⑤ 低所得者の保険料軽減を拡充する。等が概要となっております。

今年の4月からの消費税増税分が確実に医療・福祉の分野に回ってくるのか、改正論議と併せ予算配分にも注目する必要があると思われるが、いずれにせよ国の財政の問題により制度の改悪とならない事を願うばかりである。



巻頭言

「介護保険制度の改正のポイント」

青森南老人保健施設 甲田苑 理事長 関谷 哲義

公益社団法人青森県老人保健施設協会 役員名簿

(理事平成26年5月17日～平成28年5月)

(監事平成24年5月12日～平成28年5月)

役職名	氏名	施設名
会長	村上 秀一	老人保健施設すずかけの里
副会長	下田 肇	介護老人保健施設 ヴィラ 弘前
副会長	濱田 和一郎	介護老人保健施設 ナーシングホーム・オリーブ
理事	石戸谷 忻一	介護老人保健施設 希望ヶ丘ホーム
理事	村上 惇	介護老人保健施設 ニューライフ芙蓉
理事	北畠 滋郎	介護老人保健施設 ケア・ガーデン青森
理事	千葉 潜	老人保健施設 南山苑
理事	杉本 博洲	介護老人保健施設 「あしたばの里・黒石」
理事	関谷 哲義	青森南老人保健施設 甲田苑
理事	梅村 芳文	介護老人保健施設 幸陽荘
理事	田村 研	老人保健施設 シルバーケアセンターむつ
理事	山本 覺	介護老人保健施設 ナーシングセンター柏葉
監事	藤本 ふみ	介護老人保健施設 青森ナーシングライフ
監事	藤本 由美子	介護老人保健施設 カトレア
監事	平田 由世	弁護士

研修会レポート

平成26年1月30日（木）にホテルクラウンパレス青森を会場に青森県老人保健施設協会青森地区支部 栄養部門研修会を開催いたしました。

当日は多忙にも拘らず6施設8名の栄養士・調理師の方々に参加していただきました。担当施設の介護老人保健施設ケア・ガーデン青森 管理栄養士五十嵐さんが司会となって、テーマ「嚥下食」について研修を進めてまいりました。

事例としてケア・ガーデン青森の嚥下食への取り組みについての報告を皮切りに、各施設での取り組み事例・ミキサー食の食数・使用器具・トロミ剤やゲル化剤などについて情報交換をし、また青照苑とケア・ガーデン青森からサンプル食が提供され、実際に見て食べ、既製品と自家製の味や食感の違いを比較することができ、活発な意見交換がなされました。



嚥下食を作っている施設、既製品を使用している施設、ミキサー食が少ない施設など様々あり、嚥下食に取り組んでいる、またはこれから取り組もうというところも調理スタッフ人員や厨房設備、費用や調理時間の問題等がさまざまな点で共通としてあることがわかりました。

大きな研修会では聞き難いことも少人数の研修会ならではで、みな本音で今までの苦労や今抱えている悩みなども語り、とても中身の濃い研修会でした。



研 修 会 報 告

平成26年3月13日（木）十和田富士屋ホテルにて、「青森県介護老人保健施設協会県南支部研修会 支援相談員分科会」を開催致しました。

分科会には、支部管内の介護老人保健施設22施設中15施設が参加し、日々、感じている事をテーマに、情報共有を図る良い機会となりました。グループトークでは、29名の支援相談員が思い思いのテーマに白熱した議論を交わし、2時間あった時間もあっという間の一時でした。内容は多岐にわたり、人員配置から業務分担、多職種協働の難しさ、行事等…果てには医療費や薬代に至るまで、様々な議論が交わされました。一老健施設では解決出来ない事案が、複数の老健施設の考えや取組みを共有する事で解決策に繋がった事案もありました。今後も老健施設同士の繋がりを密にして、それぞれの地域性を踏まえた地域包括ケアの拠点となる施設として、様々な課題に取り組んでいく事を確認しあえる機会となりました。



老人保健施設 ほほえみ三戸

老人保健施設では当施設だけ！

■HONDA 歩行アシスト

腰に装着したモーターが、
股関節の動きを察知し、足を振り出す時と、
後ろに蹴り出す時に、太ももの部分にアシ
スト力が伝えられ、歩幅や歩行のリズムを
調整します。



全国で50セットを医療機関・研究機
関でモニター使用し効果を検証中。その
内の1セットを平成25年9月より当施設
で、モニターしている。



発症後約1年。
付けている感じがしません。
足が楽に前に出る感じがして
どこまでも歩けそうです。

発症後約1年。
「左足が楽にでるじゃ。」
「もっともっと散歩に
出かけてうまく歩ける
ようになりたい。」
杖なしで
歩けるようになるぞ！



より楽に、より遠くまで歩けるようになりたい！というニーズに答え、歩行への自信を
とり戻し、利用者様の生活範囲拡大に努めます。

ロボットを使用したリハビリテーション

■パワーアシストハンド

平成26年6月 2台導入。
思うように動かなくなった手。
以前のように物を持ったり、
つかんだり出来るようになりたい。
その様な方の、「夢をつかむ」ために、機
能回復練習等のリハビリテーションの補助
機器として導入しました。



脳血管疾患により手や指が麻痺して拘縮してしまわれた方のQOL（生活の質）向上のため、空気圧を利用して、手を握ったり開いたりする動作を安全にサポートする装置です。



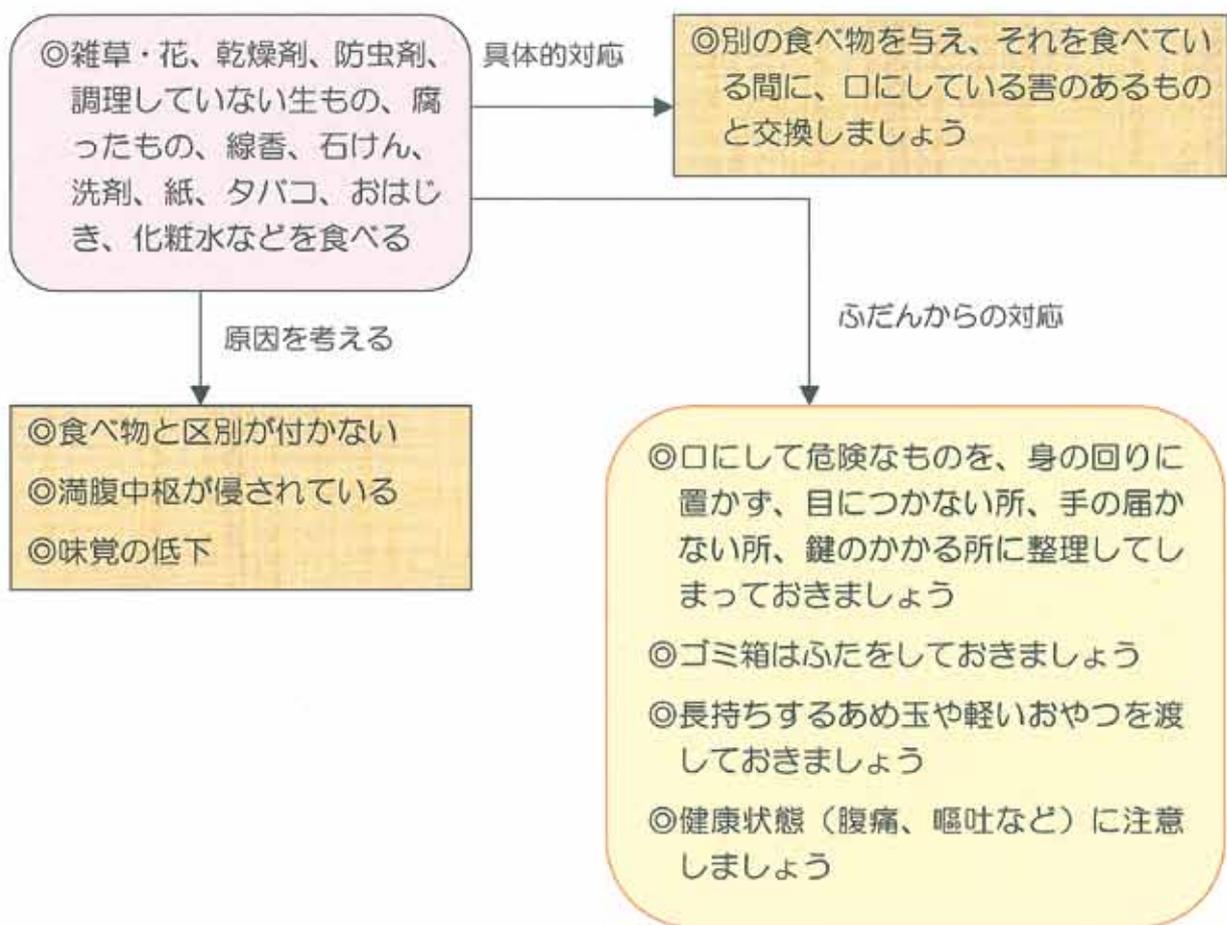
利用者様からは、
「手が温かくなった」
「やった後は、
手が動きやすくなった」
「手の感覚がよみがえったようだ」
喜びの声が聞かれています。

異物を食べる

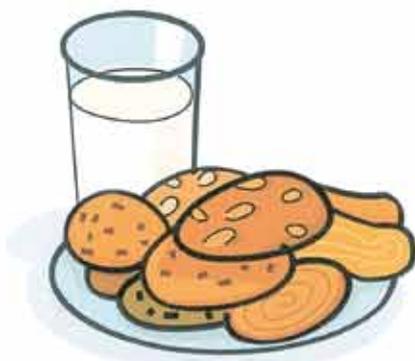
★ ある物を何でも食べてしまう

身の回りにある物を何でも食べてしまうのは、満腹中枢が侵されたり、味覚の働きが低下している、あるいは食べられる物と食べられない物の区別がつかないなどといった原因が考えられます。

気がついたら別のもの、例えばアメなどと交換してあげると、口にしたものを outlet してくれます。また、普段から口にしては危険な物を身の回りに置かないようにして、常に健康状態に注意する必要があります。



*あめ玉等は間違ってもノドに詰まらせ
ない様目配りをしましょう



何でも集める

★ 何でもかまわず集める

認知症のお年寄りは、ガラクタやゴミを拾ってきて大事にしまい込む場合があります。しかし、他人にはゴミに思える物でも、集めている本人には意味があるものなのです。こうしたことは一時的なものなので、害のない物は、そっとしておきましょう。ただ腐ってしまう食料品や不衛生なものは、少しずつ気づかれないうちにそっと捨てましょう。

◎箱、空き缶、ひも、袋、石などを大量に際限なく拾ってきたり、捨てないで集めておく

具体的対応

◎本人が気づかないように、少しずつ片付けましょう
(不潔になりやすいもの、腐る物は早めに)

言わないで!

「汚いでしょう」

「じゃまでしょう」

「こんなもの捨てて」



火の不始末

★ 火の不始末（タバコの消し忘れ、空焚きなど）

お年寄りの火の取り扱いは、非常に気がかりなことです。最も多いのが、タバコの不始末で、つけたこと自体を忘れてしまいます。

マッチやライターなどはお年寄りの身近に置かない、タバコはそのつど1本ずつ渡す、ガスの元栓を締めておくなど大切なことです。しかし、炊事をすることは女性にとって楽しみでもあるので、ご家族の方と一緒に食事の支度をするなど工夫してください。

◎タバコの火の不始末

- ・寝タバコ
- ・消し忘れ
- ・火のついたまま吸殻をゴミ箱に捨てる

具体的対応

- ◎タバコを欲しければ、そのつど渡しましょう
- ◎大きめの灰皿にし、水をはっておきましょう
- ◎金属製のゴミ箱にしましょう
- ◎難燃性の衣類や寝具を使いましょう

◎空焚き（やかん・風呂釜など）

- ・スイッチを入れた事を忘れてしまう
- ・水を入れないで火をつける

- ◎くりかえす場合、使用しないときには、元栓を締めておきましょう
- ◎自動温度調整器つき風呂釜をつかいましょう

◎ストーブの上に燃える物（洗濯物、やかん代わりの物など）をのせる

- ◎温風暖房器、パネルヒーターなど安全な暖房器具にしましょう

◎ガスコンロの上にポットや炊飯器等をのせる

- ◎元栓を締めておきましょう
- ◎料理は一緒につくりましょう

◎火で遊ぶ

- ◎引火物（マッチ・ライター・線香・ろうそく等）を周囲から隠しましょう

言わないで！

「火事になったらどうするの！」
「火を使っちゃだめって言ったでしょう！」

- ◎火災報知器・ガス漏れ探知器などを備えましょう

引用文献：認知症を知るホームページ WWW.e-65.net

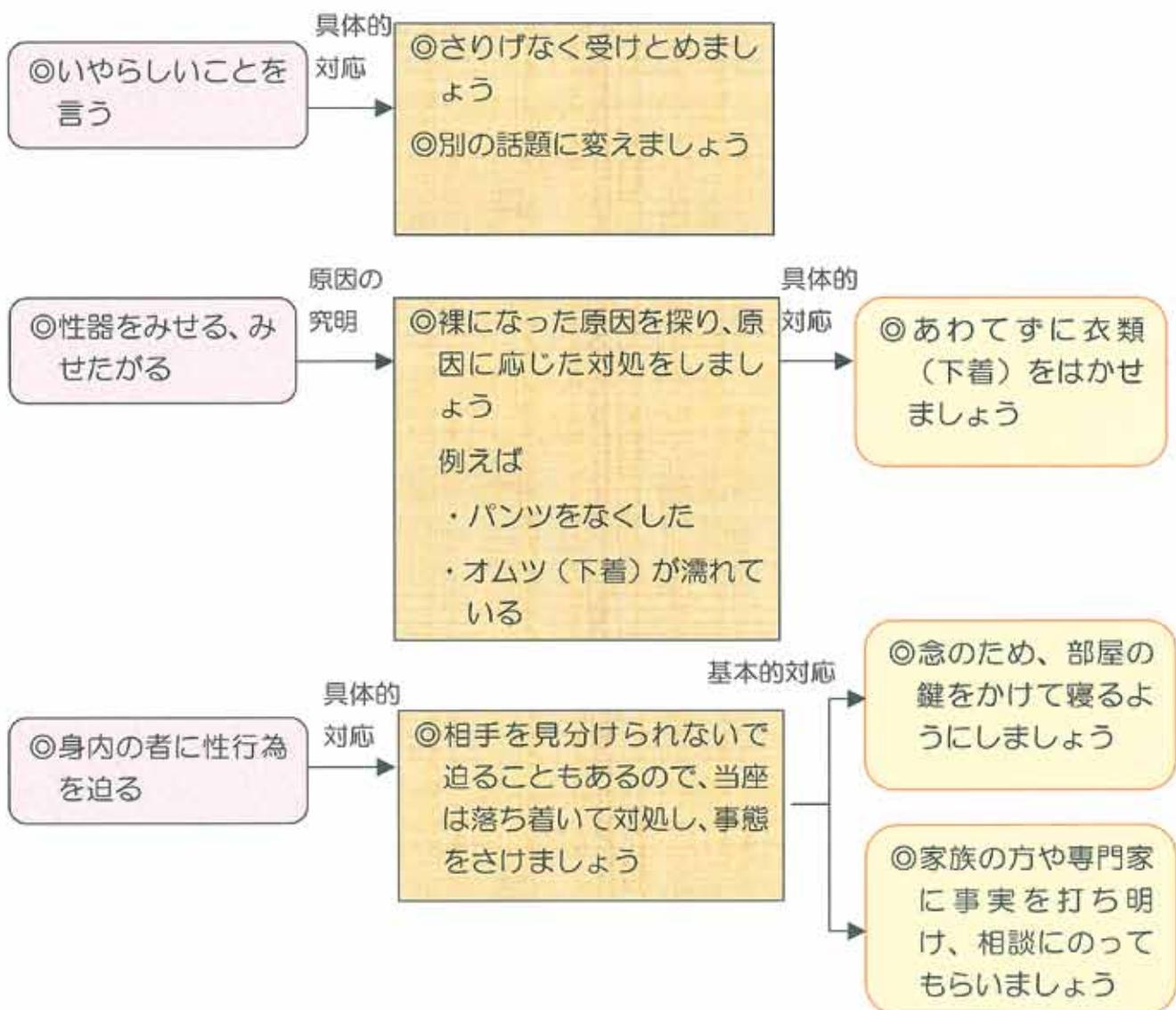
イーローゴ・ネット

性的な問題

★ 性的な問題

お年寄りだからといって、性的欲求がなくなるとか、持っではいけないということはありません。しかし、認知症のお年寄りの場合には、性的欲求の満たし方がわからずに、周囲を驚かすようなことにもなります。

根本的な解決方法として、ふだんからお年寄りの性的欲求を発散させる方法を考え、家の中に閉じ込めてしまうのではなく、外に連れ出して気分転換をさせたり、入浴時に背中を流してあげてスキンシップの機会を持つなど、配慮してあげてください。



料理自慢

ヴィラ弘前 調理主任
船水伸公

介護老人保健施設ヴィラ弘前では、毎月、月1回、お誕生日を迎える入所者様の方々と、御家族様を招いてお誕生日会食を実施しています。当施設調理スタッフは、和食・フレンチ・イタリアン・中華…、一人一人得意分野があり、個々の技術と経験を活かし、お誕生日会食では、料理を披露する場にもなっています。旬の素材を使った季節を感じさせる料理や、郷土料理・和食・フレンチ・イタリアン・中華…、前菜からデザートまで料亭・レストランに勝る本格的なコース料理を提供しています。毎月、皆様には好評でとても喜ばれています。



写真は、6月のお誕生日会食です。

メニューは、「サーモンカルパッチョ」「海の幸のリゾット」「チキンロールマスタートソース」「ほうれん草冷製スープ」「茶そばと大根サラダ」「ムース・オ・フロマージュ（チーズムースのロールケーキ）」でした。

喉ごしの良い「ほうれん草の冷製スープ」や、レモンを利かせたアンチョビソースをかけた「サーモンのカルパッチョ」等々…、初夏の陽気に包まれた、季節に相応しい、涼しさも感じられる料理でした。

6月は、入所者様3名、御家族様5名、合計8名様がお食事されました。人数は少ない時で5名様から、多い時は、50名近くのこともありました。



お誕生日会食の様子

美味しいよ♥



お誕生日会食では、より一層美味しく味わって頂く為、料理に合わせた食器を選んでいます。普段の食事の時とは違った陶器の食器を使用しています。松花堂弁当は、50組。洋食器の大皿は、100円ショップで用意しました。特別な日の食事を華やかに彩ると共に、違った雰囲気を楽しんで頂いております。



陶器の食器

年に1度の晴れの日の食事を、御家族様と共に味わって頂きたい、大切な時間を過ごして頂きたいという想いで、始めてから13年目となります。これからも初心を忘れずに、「お・も・て・な・し♥」の心で提供していきたいと思っております。

ゆるキャラも出来ちゃいました!! 折り紙手芸作品♡

湖水荘通所リハビリでは、作業療法の一環として折り紙手芸に積極的に取り組んでいます。

今年の折り紙手芸は「大きい作品を皆でつくろう」と、今話題の「ふなっしー」や鶴田町の「つるりん」等のゆるキャラからあんばんまんシリーズまで、みんなで協力して製作しました。女性の利用者様から男性の利用者様まで意欲的に取り組まれ、「どこまで出来た?」「そっちを折るの手伝うか?」など、自然と会話が増え利用者様同士の交流が活発になっています。1つ完成する毎に「すごく、かわいく出来た」「次は何が出来るの?」と笑顔が見られ、皆様楽しく取り組まれています。



陶芸教室

当施設では月に1回講師の先生に来て頂き、陶芸教室を開催しています。

「孫にごはん茶碗を作ってあげたい」「奥さんとおそろいのお皿を作る」など仲間同士で話をしながら、土をこねたり、形を作ったり楽しまれながら取り組まれています。出来上がった作品をみて、お互いに褒め合い、作品を作る喜びの声が聞かれています。



施設だより

介護老人保健施設

はくじゆ

八戸市

「赤富士製作中」

施設だより

介護老人保健施設

ヴィラ弘前

弘前市

リハビリテーション部が主体となって取り組んでいる創作活動を紹介します。

当施設では、心理社会的活動として、週に5回、集団での活動を行っています。その中の1つの創作活動を紹介します。現在取り組んで頂いているものは、おはながみを丸めたものを沢山作り、1つ1つ台紙に貼り付け、1枚の大きな絵を完成させるというものです。

認知症が重度の方でも出来るように、「紙を丸める作業」と「貼り付ける作業」をそれぞれ分担して作っています。進行状況はいつでも確認出来るようにホールに提示しています。白黒の下絵が徐々に色鮮やかになり、最後は赤富士が出来る予定です。

心理社会的活動プログラムはBPSD治療の可能性のある介入として評価されています。有意義で楽しめるイベントを企画し参加して頂くことで、BPSDを低減し施設での生活が、その人らしく楽しく送れるように職員一同取り組んでいます。



「イカ飯」大賞を受賞して

八戸といえばイカの街。かつての食卓にはイカ焼・イカ刺・塩辛等、イカ料理が毎日のように並んでいました。嚥下機能が低下した利用者様にも昔を思い出して食べて欲しい。その願いを込めて発案したソフト食によるイカ飯が、大会で大賞を受賞しました。デザート部門ではおもちのモンブランがレシピ賞を受賞。「美味しい、やさしい介護食」をコンセプトに、口から食べる楽しみを1日でも長く続けられるようにと願いを込めて作っています。



施設だより

介護老人保健施設

ひばりの里

八戸市

官庁街桜見学。

今年は5月連休前に開花した十和田市官庁街の桜並木。歩道をスタッフと歩き市役所の展望台からの桜見学で大満足の様子でした。「わあ～、キレイだなさ～」と思わず歓声があがりました。「来年もまた見にこよう」を合言葉にして帰苑しました。



施設だより

介護老人保健施設

みちのく苑

十和田市

手作り村鯉艸郷

十和田市には手作り村鯉艸郷という所があります。今年は期間限定で十和田市民入園料無料キャンペーンがあり便乗し楽しんで来ました。芍薬やルピナス等のお花を見学、香りも楽しみました。



施設だより

介護老人保健施設

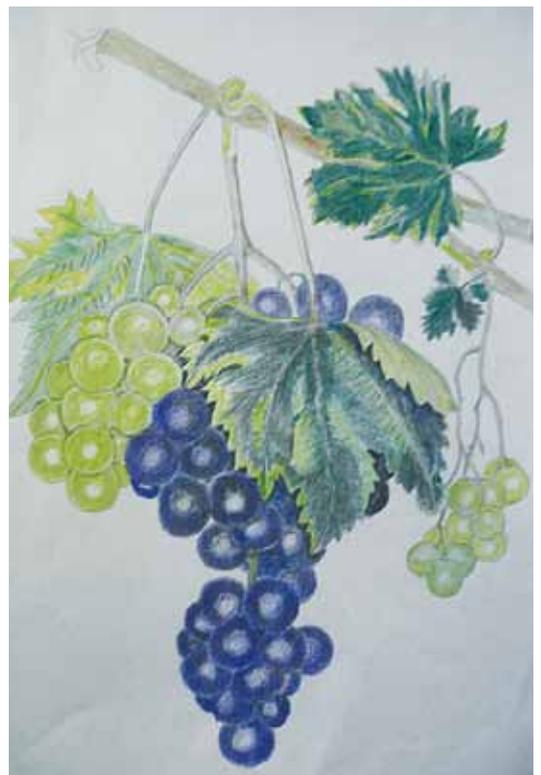
みちのく苑

十和田市

Let's レク

当施設では、『カラオケ』『麻雀』『ぬり絵』『手芸』など毎日様々な余暇活動が行われています。

皆さん、和気あいあいと午後のひと時を過ごしています。



施設だより

老人保健施設

すずかけの里

青森市

リエーション♪

また、天気の良い日は皆で、日向ぼっこをしながら庭散策を満喫し楽しんでいます。



施設だより

老人保健施設

すずかけの里

青森市

青森県老人保健施設マップ

No. 施設名 電話番号

(青森地域)

1	青森ナーシングライフ	TEL017-726-5211
2	青照苑	TEL017-788-3000
3	いちい荘	TEL017-726-3855
4	甲田苑	TEL017-728-3939
5	すずかけの里	TEL017-761-1111
6	桐紫苑	TEL017-738-8080
7	ニューライフ芙蓉	TEL017-728-2200
8	みちのく青海荘	TEL017-741-5188
9	ケアガーデン青森	TEL017-744-3311
10	カトレア	TEL017-739-6100
11	たんぼぼ	TEL0174-22-3070
12	なみおか	TEL0172-69-1120
13	津軽医院	TEL0172-62-3101
14	石木医院	TEL017-752-3015

(西北五地域)

15	緑風苑	TEL0173-33-4155
16	ながだい荘	TEL0173-72-1122
17	えんじゅの里	TEL0173-42-3734
18	しらかみのさと	TEL0173-84-3111
19	サンライフかなぎ	TEL0173-53-3292
20	湖水荘	TEL0173-22-5694

(津軽地域)

21	ケアセンター弘前	TEL0172-87-0111
22	平成の家	TEL0172-95-3981
23	うめむら	TEL0172-32-3593
24	弘前リハビリセンター	TEL0172-27-3322

25	ヴィラ弘前	TEL0172-37-7300
26	幸陽荘	TEL0172-37-8311
27	希望ヶ丘ホーム	TEL0172-87-6655
28	ふじ苑	TEL0172-38-5550
29	サンタハウス弘前	TEL0172-99-1133
30	あしたばの里・黒石	TEL0172-53-1213
31	鳥井野荘	TEL0172-82-5600
32	のぞみ	TEL0172-57-5100
33	三笠ケアセンター	TEL0172-44-8811
34	明生園	TEL0172-65-4066
35	つがる	TEL0172-45-2231





(八戸地域)

36	はくじゅ	TEL0178-28-4001
37	ひばりの里	TEL0178-96-1212
38	サンライフ豊寿苑	TEL0178-29-3232
39	リハビリパーク	TEL0178-47-3000
40	南山苑	TEL0178-27-3027
41	ナーシングホームオリーブ	TEL0178-31-5500
42	ほほえみ三戸	TEL0179-23-5050
43	老健なんぶ	TEL0179-34-3260
44	孔明荘	TEL0178-84-3333
45	南郷メディエルプラザ	TEL0178-82-2000
46	しんごう	TEL0178-78-3181
47	しもだ	TEL0178-56-4888
48	たっこ	TEL0179-32-3172

(上北地域)

49	みちのく苑	TEL0176-25-1333
50	みのり苑	TEL0176-25-1100
51	ハートランド	TEL0176-25-0122
52	とわだ	TEL0176-27-3131
53	やすらぎ苑	TEL0176-59-3784
54	ナーシングセンター柏葉	TEL0176-62-2200
55	えぼし	TEL0175-65-2666
56	のへじ	TEL0175-65-2333
57	野辺地病院	TEL0175-64-3211

(下北地域)

58	シルバーケアセンターむつ	TEL0175-22-9925
59	はまなす苑	TEL0175-26-3333
60	のはなしょうぶ	TEL0175-28-5400
61	やげん	TEL0175-34-2211



ひまわり

◆編集後記◆

『連日厳しい暑さが続いていますが、体調を崩されていませんか？

食中毒や熱中症に気を付けて過ごしましょう。

『老健あおもり25号』は、ホームページでも閲覧出来ます。ぜひ、ホームページをご覧になってください。』

平成二十六年

八月吉日

広報委員一同

●発行／公益社団法人 青森県老人保健施設協会
〒030-0822 青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ3F
TEL017-776-3868 FAX017-776-3918
URL <http://www.roken-aomori.or.jp>
E-mail jimukyoku@roken-aomori.or.jp

●印刷／青森コロニー印刷
〒030-0943 青森市幸畑字松元62の3 TEL017-738-2021